

4 月の予定

委員会	4 月 6 日
典礼委員会	4 月 13 日
子供のミサ	4 月 20 日
ヨゼフ会例会	4 月 20 日



2008 年 4 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 20 年 4 月 13 日



アブラハムの信仰

主任司祭 小林 陽一



紀元前 2000 年頃、アブラハムは、まだアブラムと呼ばれていた頃、神から呼びかけられました。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、私が示す地に行きなさい。私はあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める」。(創世記 12 章 1 節)

呼びかけられた場所はハランというそうです。その時アブラムは 75 歳でした。アブラムは住み慣れた家を妻サラと共に出て、親戚のロトと、神が示した地に向かいました。蓄えた財産は持っていったと思われまます。カナン地方に入ったアブラムは、「あなたの子孫にこの土地を与える」と現れた主から言われました。

アブラムが 99 歳になった時、主はアブラムに現れてこう言われました。「これが、あなたと結ぶ私の契約である。あなたは多くの国民の父となる。あなたはもはやアブラムではなくアブラハムと名乗りなさい。あなたを多くの国民の父とするからである」。(創世記 17 章 4～5 節) こうして、アブラハムはこの地に住み、イサクをもうけた。

全く見たことのない地にアブラムが主の命令通り出かけていくことは、考えてみると、たいへんなことでした。しかし、アブラムは主を信じて、神が示す地に出発しました。信仰が純粹であり、主にいつも従いたいという願いがあったからであると思えます。

アブラハムは、しかし、幸せな日々ばかり続いたというわけではありませんでした。最愛の息子イサクをいけにえとして捧げよ、と主は命じました。アブラハムはイサクを連れてモリヤの地に出かけました。アブラハムは、命じられた場所に着くと、決心して、息子イサクを捧げようとしてしました。すると、主は御使いを送って、アブラハムに「何もしてはならない」と命じさせ、イサクのいのちを救いました。

人間は必ず試練を体験する時があります。試練は、できれば受けたくないのが人情ですが、避けられない試練もあります。試練から逃げようとするのではなく、厳しい試練は、自分の信仰をよいものにする為に、神が課して下さっていると考えなさい。

キリストの弟子達、ペトロもパウロも厳しい試練に見舞われ、最後は殉教いたしました。イエス様がこの世に来られる 2000 年前、アブラハムは神から祝福され、神を信頼して一生を神に捧げました。



アブラハムとイサク
レンブラント 1634 年

鵜飼神父様を迎えて黙想会 (3月8日)



3月8日に厚木教会主任司祭の鵜飼好一神父様を指導司祭としてお迎えして黙想会(共同回心式)が行われました。

最初に、鵜飼神父様から『聖体、ミサ、信者生活』をテーマとして講話を頂き、引き続いて、赦しの秘跡、ミサが行われ、加えて鵜飼神父様を囲んで懇話会を行うことが出来ました。

中和田教会は、鵜飼神父様には長年いろいろな形でたいへんお世話になって参りました。

鵜飼神父様は復活祭後に松本教会に主任司祭として赴任されますが、信徒一同、心からの感謝を表したいと存じます。

鵜飼神父様、いつまでもお元気にご活躍下さい。



ご復活 おめでとうございます (3月23日)



3月23日に主任司祭 小林神父様の司式で、ご復活の主日ミサが行われ、また引き続き復活祝賀会が挙行されました。

参加された方々は、主日ミサに与れた喜びを感謝すると共に、病などの事情でミサに参列出来なかった方々の為に共同祈願で祈りを捧げました。

祝賀会では、子どもたちが主体の聖歌合唱、加えてベトナム語の聖歌を全員で斉唱するなど、簡素な中でも和やかな雰囲気の良いひと時を過ごし、復活の喜びを分かち合いました。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



典礼こよみ (4月)

日	曜	ミサ・勉強会	備考
2	水	聖書勉強会 (10時より)	
4	金	初金ミサ (10時より)	掃除1G (ミサ後)
5	土	主日ミサ (18時より)	
6	日	復活節第三主日 主日ミサ (9時より)	教会委員会 (ミサ後)
9	水	聖書勉強会 (10時より)	
12	土	主日ミサ (18時より)	掃除2G (9時30分)
13	日	復活節第四主日 主日ミサ (9時より)	典礼委員会 [世界召命祈願の日]
16	水	聖書勉強会 (10時より)	
20	日	復活節第五主日 子供と共に捧げるミサ (9時より)	愛の献金・教会建物を考える会
23	水	聖書勉強会 (10時より)	
25	金	聖マルコの祝日 祝日ミサ (10時より)	
26	土		掃除3G (9時30分)
27	日	復活節第六主日 主日ミサ (9時より)	教会掃除日



中学生会合宿

井上 昭男

聖週間中の3月15日(土)、16日(日)、復活祭をむかえる準備をかねて教会にて一泊合宿をおこないました。テーマは「ゆるしの秘跡」です。15日は聖ヨゼフの祝日であり、午後4時よりミサにあそびました。神父様のご配慮もあり、ミサを卒業、進級のお祝いとしてもらいました。御聖体とキリストの御血をいただき、今日の分かち合いが実り豊かなものとなりますようお祈りをいたしました。

ミサ後夕食の準備をし、神父様といっしょに夕食をし、午後7時30分よりゆるしの秘跡について分かち合いをおこないました。大罪とは何か、大罪を犯した人は神からのゆるしはうけられないのか等いろいろな話ができましたが、そのなかで、戦争で人を殺すことはどう解釈したらよいのかという話し合いに熱がはいりました。「戦争という特殊な状況の中ではしょうがないのでは」「人を殺すという気持ちがなくてもやらなければ自分が殺されてしまう」「人を殺すという結果がわからなくて、命令で実行し、後で現状の悲惨さを知る場合もあるのでは」「神にゆるされても、つぐないはしなくてはならない」等真剣な分かち合いができ、その中で神の存在を強く感じたのではないだろうか。

分かち合いのあと神父様が用意して下さったケーキを食べながら、中学生生活の思い出などを語り合い、聖堂で静かに神とむかいあい告解の準備をしました。

4月から4名が新中学生になり、中高生会のメンバーも12名になります。今後も中高生か中和田教会共同体の一員として活躍できますよう皆様のご指導と、ご協力をお願い申し上げます。

また中高生会のリーダーが不足しております。年令は問いませんので、ぜひリーダーに参加して下さいますようお願い致します。



3月の要理学校だより

◆洗足式体験!!

3月16日要理学校において洗足式が行われました。ほとんどの子供たちにとって洗足式は初めての経験だったので、始まる前は少し緊張気味でした。低学年グループと高学年グループに分かれて行われました。イエス様が行われた洗足式の聖書の箇所がリーダーから読まれ、その間に他のリーダー達が子供達の足を洗いました。

低学年の子供はくすぐったいせいか多くの子供達から笑みがこぼれました。高学年の子達は少し恥ずかしそうでしたが、落ち着いていました。最後に中学生の一人が洗足式の真の意味を分かり易く子供達に解説してくれました。今回の洗足式は各々違った捉え方をしていたようですが、要理学校において心に残る行事だったに違いありません。機会があったら是非子供達に直接洗足式の感想を聞いてあげてください。

(Y. I)

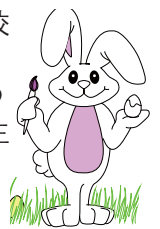


3/20 聖木曜日の洗足式にて

◆親の集い 3月16日(18名出席)

3月活動報告

- ・3/16 赦しの秘跡を受け、その後洗足式についての勉強。午後から歌の練習
洗足式は低学年、高学年の二つのグループに分け、「最後の晚餐」の話聞き、その後自分で体験する
- ・3/20 聖木曜日の洗足式に要理学校から小学生4名参加
- ・3/23 復活祭パーティーで歌を歌う
- ・3/30 子供ミサ ミサ後宮内神学生と遊ぶ



4月の活動予定

- ・4/5(土) 教会学校リーダー研修会に参加
テーマ <子どもに関わりの深い秘跡について一聖体、ゆるし>
- ・4/20 第3日曜日 子どもミサ
- ・4/27(日) 第5地区教会学校合同遠足に参加

その他

- ・侍者服は親が交代で月1回点検し、汚れたものは持ち帰り洗濯する
- ・侍者デビュー 萱場大智くん
- ・7月の夏期学校日程が7/26~27に決まる
- ・4月から初聖体の勉強が始まります。

委員会だより

△3月2日(日)10名出席▽

■小林主任司祭あいさつ

3/23御復活に向けて今回は洗礼を受ける方はいない。入門式をしたいが、日程は未定。

■行事予定

3/8 共同回心式 2時〜講話 赦しの秘跡 ミサ、茶話会実施

3/16 枝のまじり

3/20〜22 聖木曜日〜土曜日 19時〜

3/23 御復活10時〜終了後祝賀会

3/9 式の流れを確認する打合せ

■各グループ連絡・報告事項

a. 営繕G.. 2/24 教会建物を考える会実施。今後の進め方を議論。次回3/30を予定。早急に検討したい課題も多い。

◆調査・耐震対策 ◆照明の笠 ◆女子トイレの床段差対策 ◆エアコン取り替え ◆水回り調査

◆新たに検討すべき案件として、教会入り口周りの駐車場持ち主からの苦情への対応

b. 典礼G..

◆愛の献金を考える会第1回を実施し、福祉活動との連携、限りある財源の振り向け方などにつき多くの議論が出た。今後検討を進める。

◆復活祭に向け準備を進める。

c. 財務G..

◆聖金曜日に、聖地イスラエル、キプロス、パレスチナ自治区の巡礼所や聖堂修復の為「聖地のための献金」を教区より呼び掛けられている。これに1万円送りたい。

◆松本教会に赴任される鵜飼神父様にこれまでのお礼の気持ちも含め共同回心式で謝礼を差し上げる。

d. 行事G..

◆鵜飼神父様送別会は手配済み



◆御復活パーティーで食べ物が余ることが多い。準備と後始末の苦労も考慮し、準備グループにて一品作り、あとは献品にて対応とする

△小林神父様ご意見▽.. パーティーは「食べる」中心でなく、交わりの場として和やかさがほしいので、ゲームや催しもあると良い。↓ 要理の歌や全員で歌える歌も用意することとなった。

e. 広報G.. 今後変更があった時点で08年版の連絡網を発行。

f. 宣教G..

◆中高生グループの合宿 3/15〜16(日) 皆で分かち合い、赦しの秘跡、ミサ、親睦会等を実施

◆第5地区教会学校のリーダ会が活発化している。その一環として4/27に野外ミサとミニ運動会が開催され、要理学校としてこれに参加する。これに伴い4月の子供ミサは第4週を第3週(4/20)に変更することを委員会として決定。

◆現在教会で加入している保険は敷地内のみ保障であるが、活動が敷地外にも広がっているため、要理学校として予算内で保険に加入したい。少額でもあり、委員会としてこれを了承。

g. 福祉G.. 教愛の献金を考える会との関係が議論された。考える会は6月までの期限で方向付けを目的としており、当初バザー収入の活用活動まで広げて議論をしている。

◆福祉グループとして各種献金の話等の個別案件について対応案を作らなければならない。委員会にはかることとなった。

h. 事務G.. 毎月典礼ごよみを検討

◆小林主任司祭コメント

◆宮内神学生が3/30に中和田教会に来られる。

◆中和田教会が福祉に感謝状を受けた。

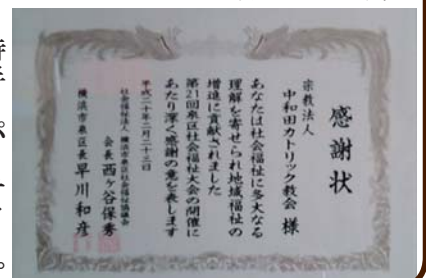
◆木村義男神父様の金祝のお祝い(感謝の集い)が3/30(日)返子教会で開催される。午後2時ミサ、3時半〜パーティー。中和田教会としてお祝い金を贈る。

◆教会学校リーダ研修会 4/5(土)9:30〜15:00 戸塚教会開催。リーダのみならず保護者もできるだけ参加してほしい。

◆泉消防署の指示で消防設備6ヶ月点検を至急完了するよう業者に申し入れる必要有り。

◆教会建物を考える会ではいろいろな意見が出ており基礎工事や部分修理に関する意見も多い。専門家のボランティア参加、優先順位設定等も検討すべき

◆第五地区祈る力を育てるアンケートの扱いは各グループでの回答作成は難しいので教会委員会での対応を考える。



08年3月委員会後記 小野委員長

◆年間で最も重要な典礼である聖週間、復活の主日が滞りなく終了しました。典礼参加者全員でご復活の喜びを分かち合えたことを感謝したいと思います。また共同祈願でお祈りしたように、病氣などで典礼に参加出来なかった方々に神様の豊かな恵みが注がれますようにお祈り申し上げます。加えて、毎年のことながら準備などにご尽力

頂いた皆様、有難うございました。本年度の復活の祝賀会は、小林神父様の「祝賀会を「会食の場」ではなく、真の意味で「交わりの場」としたい」というご意向に沿い、簡素な形のなかで子どもたちを中心に、ベトナム語の聖歌斉唱などを交えて交流と懇親のひと時を過ごしましたが、参加された皆様はどのような感じになりましたでしょうか? お感じになった印象やお気付きの点などを教会委員にお寄せ願えれば幸いです。

◆聖週間に先立って、鵜飼好一神父様を3/8にお招きして黙想会・共同回心式・ミサが行われました。中和田教会は、長年に亘っているいろいろな形で鵜飼神父様にはたいへんお世話になって参りました。鵜飼神父様は、長野県・松本教会に主任司祭として赴任されましたが、いつまでもお元気で活躍されますよう中和田信徒一同、心よりお祈り申し上げます。有難うございました。



◆中和田教会のホームページに、月刊「広報なかわだ」のダウンロード・サイトの新設しました。これにより、お手持ちのパソコン(PC)を使用して、ホームページから広報をダウンロードして閲覧やプリントをすることが出来ます。療養等で教会に来られない方々、海外など遠方に赴任中の方々、他教会へ転出した方々など、多くの方々にご利用願えれば幸いです。(中和田教会ホームページのURLは <http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>)